

しろくさやま
白草山 1641m
御厩野登山口から乗政登山口へ

平成24年
2012年11月24日



[へまんと](#)さんからリクエストがあった白草山に向かう。直前の声かけにもいい返事をいただき感謝しながら、せっかくなので御厩野（みまやの）から乗政への通り抜けをすることにした。

道の駅「加子母」で待ち合わせをして、まずは乗政登山口に向かう。すでに数台は止まっているかと思いきや2台ほどしか止まっていない??? 頂上独占も可能かと思いが

ら御厩野登山口に移動する。

国道257号線舞台峠に「白草山」への標識がある。こんなに立派な標識があるが、あまりこちらからは登られていないように感じる。道がだんだん狭くなり、立派な林道に出る。右折しすぐに二股になり、左の狭い林道に入っていく。

川を渡り、少し登っていくと御厩野登山口に到着する。2・3台の車を停めることはできる。指標には、3.1km3時間とある。2時間ぐらいの予定でいたが、すでに9時になっていたので少し遅くなりそうだ。



準備をして出発する。9時13分。いきなりの急登ですぐに暑くなる。風が強いので寒いかと思ったが、それほどでもなさそうだ。



すぐに指標があり、しばらく100mごとに指標が連続して設置してある。



9時31分、急登から尾根に出る。「白草山まで2.6Km」の指標が設置してある。わずか500mほどだがかなり熱くなったので衣服を調節する。突然、へまんとさんが「なんか動いた」と叫ぶ。驚いたが何が動いたかは不明だ。一応、クマベルを鳴らしながら歩いているが、人以外には会いたくはないものだ。

登山道の両端は笹が茂っているが、きれいに刈られて整備されている。感謝である。



尾根に入り、指標の間隔が広がったが、よく見ると「白草山」の下に「御」と書かれてキロ数が表示されている。はて、なんと読むのだろう・・・???また、その意味は???



9時50分、三角点のある展望台に到着する。

御厩野方面か。舞台峠らしきところも見える。リュックを降ろし、お茶と飲んで休憩する。



あまり坂はなく、歩きやすい道だ。

10時17分、大岩に到着する。へまんとさんが先に登り、その後が続く。



先ほどの展望台と同じ方角だが、高度感はある。



頂上まで「1km」の指標を見ながら進むと、水場の指標がでてくる。水場まであと100mだ。





登山道より右手に下ると水場となる。源流のようだが、夏場にはかっこの水場となるだろう。すぐに、指標があり「白草山まで0.9Km」となる。10時32分。



10時41分、プレハブ小屋の廃墟と化している避難小屋がある分岐点となる。雪がかなり降ったようで、登山道の両側に積もっている。



プレハブ小屋の反対側にはトイレらしき建物もあるが、中を見たいとは決して思われない状況だ。

すこし歩くと御嶽山が右手に突然現われる。驚きとともにカメラを向ける。思った通りの冠雪した御嶽山だ。



10時54分、笹が広がってきて頂上となる。期待どおりの御嶽山が目の前に！

風がとても強く、風をよける場所がないかと探したが笹ばかりでない。仕方ないので頂上の隅で、ノンアルコールビールで乾杯！をする。



時間は早いですが、ひさしぶりにカップヌードルを食べる。バーナーの点火装置が故障してしまったので久しく携行していなかった。しかし、寒い時にはやはりあったかいものが欲しくなるので今日は携行した。新しい物を買いなおそうかと思いつきながら、ライターで点火してお湯を沸かす。あったかい食物はうれしい。

御嶽山だけでなく、乗鞍岳、北アルプスまでも何とか見える。

頂上は独占!!!。途中から男女のペアが到着される。



11時40分、下山を開始する。これから歩いてくルートや三つ岩が見える。もちろん箱岩山も、

笹が広がり、とてもいい感じだ。こういった風景は大好きだ。





箱岩山への分岐を確認して、箱岩山を目指す。11時52分。

11時59分、急登を一のぼりして、箱岩山に到着する。こちらからは下呂方

面や白山がよく見える。



箱岩山から分岐まで戻り、乗政登山口を目指して出発する。分岐で、先ほど白草山頂上で一緒になったペアとすれ違う。

途中、三つ岩山の不思議ないでたちに感心しながら下っていく。



こちらの登山道にはあまり指標がないが、一本道で迷うことはない。



振り返ると、さっきまでいた箱岩山と思われる頂上が見える。



尾根の登山道からは白山方面がきれいに見えるが、尾根を外れると、ほとんど眺望はなくなる。



指標を見ながら、下っていく。このルートは以前登っているが、これほど坂が続いていたのだろうか。平坦な箇所もなく登り返しの箇所もない。

次第に水の音が聞こえてきたかと思ったら、ソロの男性とすれ違う。これからかと思うと少し心配になる。



13時5分、沢にぶつかって左折となる。ここからは、沢の沿っての下り坂となる。



13時9分、橋を渡り、広場となる。以前は、この広場に何かがあったのだろう。



無事に黒谷林道に到着する。ここから長い林道歩きとなる。いろいろ話しながら、落ち葉を踏みしめて歩く。



13時35分、赤いフェンスが林道歩きの終りを示す。

案内板があり、4.4Km 1時間50分とある。こちらからの方が近いのか。

ここからさらに林道を走っていくと寺田小屋山への登山口となるが、よく見るとその林道にはチェーンがかけられている。寺田小屋山へは、ここから歩いていかななくてはならないようだ。



無事に車に戻り、第2の目的である「乗政温泉」を目指す。しかし、あれ----。建物が無い。新築中だ。仕方ないので、林道まで戻り、御厩野登山口に戻る。

[おんぽいの湯](#)にて汗を流して帰宅する。